

第6回 古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会・とりまとめ部会

- ・日 時：平成28年1月6日（水）19時～20時45分
- ・場 所：市役所303会議室
- ・出席者
 - ・部会員（敬称略）：水田、篠崎、今村、大神、本田、戸田、高村、最所（計8名）
※欠席者：横大路（1名）
 - ・事務局：地域コミュニティ室長、同係長、同係員
 - ・ファシリテーター：村田、今井（（株）エム環境デザインシステム）
- ・会議内容：以下の通り

1. 第10回策定委員会の振り返り

- ・各委員より第10回策定委員会(12/16)の振り返り。(以下、特に印象に残った意見や感想)
 - ・自治会にいかに関心を持ってもらうか？子どもの時からの教育、親の教育が必要との意見が印象に残った。
 - ・委員の中に実際に自治会に関わっている方がおり、その方の話が聞けて良かった。
 - ・長い間地域活動に取り組んでいる方の話は重要。時代が変わる中で続けられる仕組みも必要ではないか。
 - ・自治会に若い人が入るようにするには？など、一つの話題に次々に関連する意見が出た。
 - ・「対等とは？」という話が市民の中から出たこと。大切にしたい。
 - ・「対等」は、情報、参加、共働のいずれにも関わる。押しつけではいけない。
 - ・楽しくないと続かないとの意見が若い世代から出ている。若い人が集まる居場所も必要ではないか。

2. 「はじめの一步案 ver.2」について

- ・第10回策定委員会で出された意見の「はじめの一步案 ver.2」への反映について資料の案の確認・検討を行った。(全体としてはおおむね反映できていることを確認)

【主な協議内容】

- ・〈参加と共働—対話と交流の場づくり(4ページ)〉意見に「多様な人々」という表現については、今まで出された意見を踏まえ、「多様な世代や立場の人々」に統一。ただし、意見として出されたものについてはそのままの表現とする。
- ・〈参加と共働—コミュニティの推進(5ページ)〉「誰が（主語）」の「②市民(団体)」の欄に「地域コミュニティ（地縁団体）」を追加。「②市民（団体）」については、今後検討が進む中で自然と細分化していくことが予想される旨を確認。
- ・前回意見、(②市民(団体))の「若い人のニーズは若い人にしかわからない」という表現については誤解される懸念があるため、かっこ書きにより解説を添える。

3. 第 11 回策定委員会について

- ・ 第 11 回策定委員会のプログラム案について検討・確認。

【主な協議内容】

- ・ 〈5.グループでの話し合い〉 ゲスト参加者を交え、テーマ（自治会、校区コミュニティ、ヘルスステーション）ごとに班を編成。各班のとりまとめ部会員を中心に、以下の2点に留意しながら話し合いを進める。
 - ・ 大事なポイントは書き残す
 - ・ 班員全員で話し合える場づくり

4. その他

今後も部会員を中心に、若い世代など全ての委員が意見を出しやすい場づくりを積極的に行っていく。

以上